

記念講演

講師 小倉 智昭さん
(フリーアナウンサー)

記念講演では、フジテレビ「情報プレゼンターとくダネ」などでおなじみの小倉智昭さんが『人生引き出し、常にいっぱい』と題して講演されました。

幼少時に吃音症に悩まされていた小倉さんが選んだ職業はアナウンサー。現在、日本を代表する司会者として活躍する小倉さんの吃音症克服への努力、順風満帆ではなかった独立当初の苦労体験、一流の司会者を目指して頑張る心の支えとなった父の教えなどが話されました。

年をとってもあきらめない、最後まで人生を楽しみ、自分のやることをやっていきましょうと話す小倉さんの講演に、来場者は熱心に聞き入っていました。



島踊り継承映像化委員会による記録映像上映

島踊り継承映像化委員会による記録映像上映が行われました。鷹島町で行われてきた「島踊り」を映像化し、そのしきたりや伝承を市民の皆さんに知っていただき、松浦市に息づく伝統としての「島踊り」により親しんでほしいとの思いで制作されました。



島踊り継承映像化委員会による記録映像上映の様子

エンディングアトラクション

エンディングアトラクションでは、田ノ平浮立保存会による「田ノ平浮立」(市指定無形民俗文化財)の演舞が披露されました。

最後は、松浦ウインドオーケストラ、松浦高校吹奏楽部、御厨中学校吹奏楽部、志佐中学校吹奏楽部、福

島中学校音楽部の皆さんが「きらきら星変奏曲」と「アルセナール」を演奏し、すばらしい音楽で会場を盛り上げてフィナーレを飾りました。



「田ノ平浮立」の演舞

「AR蒙古襲来」アプリケーションソフト体験コーナー

スマートフォン用アプリ「AR蒙古襲来」は、市制施行10周年を記念して市が制作しました。鷹島神崎遺跡から発見された元の沈没船をCGにより3Dで復元し、AR(拡張現実)技術を活用することで元寇船に乗船したりと疑似体験できるものです。

体験コーナーでは、式典の来場者にタブレット端末を実際に触って、鷹島海底遺跡発掘写真やペーパーパルクラフトでできた「管軍総把印」を作って押印したり、頭部に装着する機器を使った3D映像に驚きながら楽しんで体験していました。



松浦ウインドオーケストラ、松浦高校吹奏楽部、御厨中学校吹奏楽部、志佐中学校吹奏楽部、福島中学校音楽部の皆さん



松浦市市制施行 10 周年を迎えて

松浦市長 友広 郁洋



本市は、平成18年1月に旧松浦市、福島町、鷹島町の1市2町が新松浦市として合併誕生し、本年1月1日をもって10周年を迎えることができました。これらひとえに多くの関係者の多大なるご尽力とそして何よりも市民皆さまのご理解ご協力によるものです。

新松浦市は「産業創造！次代へ漕ぎ出す松浦市」自然のめぐみを活かした「個性」きらめく「交流」と「ぬくもり」のあるまちづくりを「新市建設の基本理念として掲げ、この10年間を市民と市議会、行政が一体となった協働によるまちづくりを目指して歩んでまいりました。

これまでの10年間を振り返りますと、市民皆さまの安全・安心な暮らしを確保するための消防庁舎の建設や原子力防災対策、産業の振興や福祉の向上のための鷹島肥前大橋の開通や西九州自動車道伊万里松浦道路の松

浦インターチェンジまでの整備促進並びに松浦と佐々間の事業化。そして、九州電力松浦発電所2号機の建設再開決定などの大型プロジェクト、子育て支援などの各種政策が次々と実現しました。

また、「鷹島神崎遺跡」が海底遺跡として国内で初めて国指定を受け、先駆的に取り組んできた体験型旅行事業も定着拡充を見せています。さらに、JR九州ファームによる本市農業への参入、保育所に入所する第2子以降の保育料無料化や小中学生に対する医療費助成の対象年齢を高校生まで拡大するなど、さまざまな分野において実り多い10年間となりました。

本年は、これからの10年のスタートの年であり、数多くの重要な施策推進の大切な年となります。ふるさと松浦市が持つ無限の可能性を信じ、市民の皆さま、市議会、国や県、関係団体などと連携し、松浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略を積極的に展開し、市民が主役の誰もが「住みたいまち、住み続けたいまち」づくりに全力を傾注し、さらなる飛躍を目指してまいりますので、今後とも、なお一層のご指導とご支援を賜りますようお願いいたします。

「未来のまつうら」小中学生児童・生徒絵画コンクール



▲ 小学5・6年生の部
最優秀賞 稲本愛穂さん
(鷹島小6年)

▲ 小学3・4年生の部
最優秀賞 岩木暉実さん
(御厨小4年)

▲ 小学1・2年生の部
最優秀賞 田中和志さん
(志佐小1年)

▲ 中学生の部
最優秀賞 渡邊よし乃さん
(福島中3年)

◆ 「未来のまつうら」小中学生児童・生徒絵画コンクール最優秀賞受賞作品



「未来のまつうら」小中学生児童・生徒絵画コンクール最優秀賞受賞者表彰式が、松浦市市制施行10周年記念式典で行われました。

同コンクールは、将来を担う小中学生の皆さんに「未来のまつうら」を自由に発想してもらい、「こんなまちになればいいな」「こんな場所があったらいいな」という思いを絵画として表現し、まちづくりへの興味を持ってもらうことを目的に開催されました。

今回、市内小中学校から177点の応募があり、最優秀賞4点が決まりました。